

A R C

作品集

2 0 1 9

目次 CONTENTS

楽しい煉屋（焼肉店舗）	77
-------------	----



設計
監理

株式会社アキバ設計

施工

笹木産業株式会社

札幌市中央体育館 北ガスアリーナ札幌 46	78
-----------------------	----



設計
監理

フジタ・北海道日建設計設計共同体

施工

フジタ・岩田地崎建設・田中組特定建設工事共同企業体

北海道銀行名寄支店	79
-----------	----



設計
監理

(株)北海道日建設計

施工

(株)五十嵐組

駒澤大学附属苫小牧高等学校 敬愛寮 80



設計
監理

株式会社 西村建築設計事務所

施工

岩倉建設株式会社

苫小牧市沼ノ端交流センター 81



設計
監理

西村・渡辺共同企業体

施工

盛興・丸彦渡辺・青地・秋村 特定建設工事共同企業体

いせの里保育園・いせの里児童センター 82



設計
監理

株式会社清和設計事務所

施工

丸田・中一特定建設工事共同企業体

北見信用金庫卸町支店..... 83



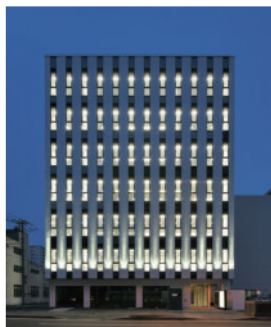
設計
監理

株式会社清和設計事務所

施工

天内・岡村特定建設共同企業体

創成イーストビル..... 84



設計
監理

株式会社 DESIGN FIELD

施工

株式会社 藤井工務店

楽しい煉屋（焼肉店舗）

発注者 有限会社岩井畜産
設計監理 株式会社アキバ設計
施工 笹木産業株式会社



外観



テラス席エリア



店舗内部



外観



カウンター席

《建築概要》

建設地 滝川市本町2丁目7-4
規模構造 木造平屋 266.64 m²
用途 飲食店
外部仕上 長尺カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺きなど
内部仕上 床防塵塗装・壁天井PB塗装

《設計主旨》

以前営業していた煉瓦倉庫のイメージを基調に幅広い客層の確保が計画と条件だった。

客席に柱・間仕切りを設けず開放感のある店舗空間とした。

札幌市中央体育館 北ガスアリーナ札幌 46

発注者 札幌市（北4東6周辺地区市街地再開発組合）
設計監理 フジタ・北海道日建設計設計共同体
施工 フジタ・岩田地崎建設・田中組特定建設工事共同企業体



《設計概要》

面積 延べ 14,802.08 m²
構造 RC造一部SRC造、S造・地上4階
外観仕上 コンクリート化粧打ち放し（出目地）
工期 平成29年4月～令和元年7月
建設地 北海道札幌市中央区
写真撮影 佐々木育弥

《設計主旨》

旧中央体育館の建替計画。『北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業』の一環である。1階に各種競技室群を、2～3階に観覧席、アリーナを配置、各階の面積の差異を逆さ台形状の建物外形として現した。外装は外壁垂直面を現場打ち、傾斜面をハーフPCによるRC化粧打ち放しとした。幅の異なる化粧型枠を組み合わせた出目地により、コンクリート面に豊かな表情を作り出している。アリーナの架構は張弦梁＋片持ち梁によるハイブリッドな鉄骨架構で構成することで大空間にありがちな大断面部材ではなく、部材寸法を抑えることが可能となった。傾斜した外壁、ダイナミックな架構、コンクリートのテクスチャによりスポーツ施設としての躍動感や力強さを持つ建築を実現した。
設計担当：佐藤教明 中村友紀 濱口芳郎

北海道銀行名寄支店

発注者 (株)北海道銀行
設計監理 (株)北海道日建設計
施工 (株)五十嵐組



《設計概要》

面積 延べ 199.98 m²
構造 RC造・地上1階
外観仕上 コンクリート化粧打ち放し
工期 平成30年10月～平成31年5月
建設地 北海道名寄市

《設計主旨》

必要な機能を凝縮したコンパクトな銀行支店の新築計画。国道と駅前通りが交差する角地で、隣地は商業施設の駐車場であるため全方向からの見え方に配慮した。四周に開いた外壁面を“顔”と捉え、店舗機能を構成する4つのゾーニングがボリュームとして外観に現れるデザインとした。もっとも人通りの多い国道側には横連窓を設け、通りがかる人も銀行のアクティビティを直に感じられるようにした。外装は名寄の豊かな自然、すなわち山々の起伏や木々の揺らめきをモチーフにし、陰影のある化粧打ち放し仕上げは見る角度の変化や時間の移ろいを捉えた豊かな表情を創出する。地域の社会や風景に根差した銀行店舗を体現した。

設計担当：川東 隆、阿久津翼

駒澤大学附属苫小牧高等学校 敬愛寮

発注者 学校法人 駒澤大学
設計監理 株式会社 西村建築設計事務所
施工 岩倉建設株式会社



女子ダイニングホール



女子ラウンジ



男子ダイニングホール



男子ラウンジ

《設計概要》

面積 延べ 2,820.95 m²
構造 RC造・地上4階
外観仕上 磁器質45二丁掛タイル他
工期 平成30年3月～平成31年1月
建設地 北海道苫小牧市明野新町6丁目35番1、2、3
設備業者 電気設備 株式会社 錦戸電気
空調・衛生設備 株式会社 進興工業

《設計主旨》

本建物は、全国から多くの生徒が入学する駒苦高校の新たな生徒寮として、女子寮と男子寮を合築した建物として計画。中央に男女双方へ供給・利用できる厨房・縦動線と管理エリアを集約し、その左右に男子棟と女子棟を接続することで、

合築による面積の縮減と男女間の明確な管理区画を図った。

また、アプローチ・駐車場が見渡せる宿直室に加え、防犯カメラ・居室のキーレックス錠や建物への出入は静脈認証による最新のセキュリティシステムを導入など、高度な防犯性により生徒の安全と保護者への安心感を実現。2階から4階の居室エリアは、中心に男女の水廻りと階段を集約することで、利用動線の短縮と設備コスト縮減や維持管理に配慮。また、セミパブリックスペースとして、各階に生徒間のコミュニケーションを促すラウンジスペースを設け、日常生活にゆとりを与える設えとした。

内装計画においては、一般的な寮のイメージに囚われず、カフェやホテルを意識したインテリアとし、快適で豊かな生活が送れるように、潤いのある空間デザインとした。

設計担当：高橋嘉宏、岡部宏祐

苫小牧市沼ノ端交流センター

発注者 苫小牧市
設計監理 西村・渡辺 共同企業体
施工 盛興・丸彦渡辺・青地・秋村 特定建設工事共同企業体



外観全景



多目的ホール

《設計概要》

面積 延べ 2,402.00 m²
構造 RC 造・地上 1 階
外観仕上 磁器質ボダータイル他
工期 平成 29 年 9 月～平成 30 年 9 月
建設地 北海道苫小牧市北栄町 3-3-3
設備業者 電気設備 錦戸・西川・山西 特定建設工事共同企業体
空調・衛生設備 進興・東成・新王 特定建設工事共同企業体

《設計主旨》

本建物は、苫小牧市において今なお発展を続けている沼ノ端東部地区の拠点施設として児童センター・集会場のほか行政窓口や多目的スペースの機能を兼ね備えた複合施設として計画。

図書コーナーや調理室を内包した、ガラス張りのシンボリックな楕円ホールを中心に、児童センターと集会場を左右に配した明快な建物構成とした。複合化のメリットである、各々の施設の積極的な相互利用を促すため、利便性の良い動線計画と容易な管理区画により、稼働率の向上と安心して施設を利用できる安全性の確保に努めた。また、屋外空間においても地域が自由に行き来する広場と児童センターの子どもが利用する広場を緩やかに分離することで安全に活動できる屋外空間とした。

ガラス張りの開放的なホールが地域コミュニティの新しい風景となり、幼児から高齢者まで多世代が「遊び」「学び」「集い」そして「つながる」。生きがいと賑わいが交流を創出し、多様化する市民の生活・文化・学習・子育てなどの活動を柔軟にサポートする施設づくりを目指した。

設計担当：高橋嘉宏、茅森 昭

いせの里保育園・いせの里児童センター

発注者 社会福祉法人網走愛育会
設計監理 株式会社清和設計事務所
施工 丸田・中一特定建設工事共同企業体



体育館



外観



多目的ホール

《設計概要》

面積 延べ 1,752.86 m²
構造 RC造・地上2階・地下0階
外観仕上 コンクリート打放し補修の上、浸透性着色クリア塗装

工期 平成30年6月～平成31年2月
建設地 北海道網走市北10条西4丁目14-4、北11条西4丁目1-4の内、1-5の内、北12条西2丁目2-29の内

設備業者 電気設備：株式会社道北電気
機械設備：株式会社そうけん

《設計主旨》

網走市は老朽化が進んだ保育園数園と児童館を統合し、移転改築することを決定。公募型プロポーザルにより、社会福祉法人網走愛育会が施設整備と運営を行うこととなった。

基本的な階構成は1階を保育園、2階を児童館とし、エントランス前のポーチから各々のエントランスへアクセスする明解なゾーニングとした。

外観は児童館を併設していることから、公共施設的な落ち着いたデザインとした。

体育館は1階に設け、独立したエントランスを設けるなど、保育園、児童館からの利用はもちろん、施設管理の区画を考慮し、夜間開放なども可能な設えとした。

保育園は腰に羽目板貼を用い温かみのある空間とし、児童館はエントランスを入ってすぐに多目的ホールを設け、明るく楽しい設えとし、子供たちの笑顔が見える施設造りを目指した。設計担当・笹木圭一、笹木圭輔

北見信用金庫卸町支店

発注者 北見信用金庫
設計監理 株式会社清和設計事務所
施工 天内・岡村特定建設共同企業体



外観



内観



内観

《設計概要》

面積 延べ740.44 m²
構造 S造・地上2階・地下0階
外観仕上 押出成形セメント板 アクリルシリコン塗装、
50角タイル貼
工期 平成31年4月～令和1年10月
建設地 北海道北見市卸町1丁目1-7
設備業者 電気設備：エスケー電気株式会社
機械設備：天内工業株式会社

《設計主旨》

新店舗は30～40年経過した北見信用金庫の卸町支店と若葉支店を統合し、夕陽ヶ丘通り沿いに駐車台数30台を確保し、新店舗を建設した。

外観は北見市駅前のシンボルとなっている本店のイメージを基に、どこからでも北見信金の店舗とわかるデザインとした。

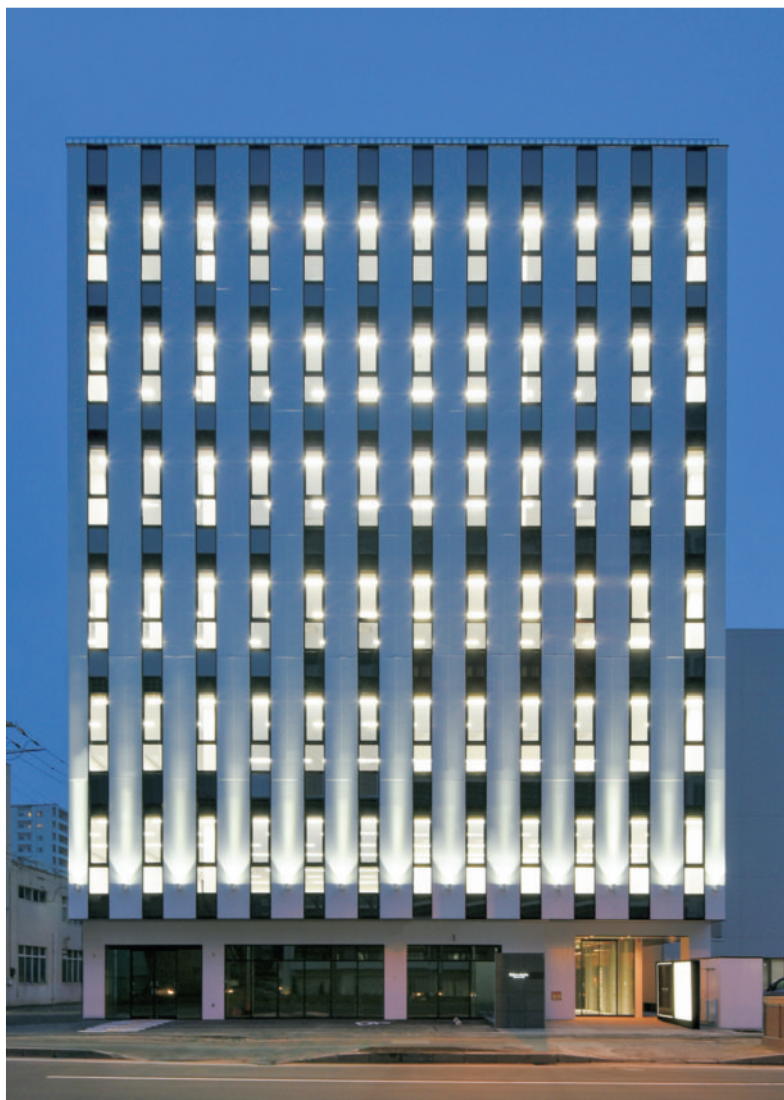
店内は相談や融資のブースを含め、7箇所のカウンター窓口を備え、3台のATM設置など、従来の店舗のほぼ2倍の規模とした。

ゆったりとした木の温もりが感じられ、入りやすい永く地域に愛される店舗となる事を目指した。

設計担当・笹木勇一

創成イーストビル

設計監理 株式会社 DESIGN FIELD
施 工 株式会社 藤井工務店



外観（正面・夜景）



1階 ホール



2～7階 オフィス



ポーチ（夜景）

《設計概要》

面 積 延べ 3,525.36 m²
構 造 鉄骨造 一部 RC 造 地下1階／地上7階
外観仕上 押出成形セメント板
工 期 平成30年2月～平成31年3月
建 設 地 札幌市中央区南1条東3丁目12-4、-5、-6

《設計主旨》

本建物は創成川東地区に位置し、今後地区開発により発展していく地域であることを考慮したオフィスビルを設計した。

外観にはガラススリットをリズムカルに配置し賑やかさを演出しつつ、白と黒を基調とし景観に馴染むシンプルなデザインとした。夜間のライトアップでは、より一層空間に溶け込み、夜空に浮かび上がるような雰囲気仕上を上げた。

内部の2階～7階はオフィス用の入居スペースになっており、約15mスパンを無柱にすることでフレキシブルな空間にした。また、1階にはコンビニエンスストアを併設し、オフィスとビル内部で繋がっているため便利に利用できる。

地下には24台分の機械式駐車場を設置し、必要台数を確保した。

総じて、ビルで働く人、地域の人々、それぞれにとって居心地よく利用しやすいビルを目指した設計である。

設計担当・神田雅章